

# えこみゆう

「西和賀の人と自然と環境を守り育てる豊かな里づくり」

西和賀広域エコミューシウムだより

平成十六年十一月二十四日発行 第二号

## エコミューシウムの理念

### 「西和賀の人・自然・環境」西和賀の宝

西和賀の人々は周囲を山に囲まれた自然条件の中で自然の恩恵を受け、自然に負担をかけない、自然の循環を大切に生きる生き方や互いに助け合いながら暮らしていく知恵を育んできました。そして、先人達の智慧と努力による優れた文化や伝統、技術を育み伝えてきました。美しい自然や景観、個性豊かな人間性などは二十一世紀、これからの時代に誇れる大きな財産であり、これを後世に伝えるため守り育てていかなければなりません。しかし、これら財産は、近年の生活・文化の都市化の中で失われているものも数多くあり、保存・伝承の取り組みが必要となつていきます。このため、地域の資源・財産をまずそこに住む住民自身を知り、住民自身が学習・保存・展示の活動を通じて地域社会の発展へと結びつける取り組みが必要となつていきます。

西和賀広域エコミューシウムは、以上のような理念を背景にして、地域の有する各種資源と地域特性、地域課題を住民自身が見出す「地元学」の活動を推進するとともに、地域の特色を活かした地域づくりの展開をめざして、地域全体を博物館の領域とみなし地域の資源を活かした地域づくりを進めていきます。

## 活動の柱となる5つの基本

### 一、調べる

#### 西和賀「地元学」の推進

地域や学校での活動として、自然環境や伝統的な技術、暮らし、人、その他西和賀地域の各種資源等についての西和賀「地元学」調査活動を推進します。

各種の西和賀「地元学」活動を推進することにより、西和賀地域の自然や歴史文化など地域に対する新たな認識や再発見をもたらし、結果として、地域住民の郷土への愛着と誇りが一層醸成されることとが期待されます。

### 二、守る

#### 自然環境の保全活動の推進

原生的な自然や貴重種、里山などの身近な自然など、西和賀地域の自然環境について、調査を進めると共に、保全や復元、意識啓発の活動を推進します。

このような活動の積み重ねによってさまざまな自然に対する関心が高まると共に保護・保全の認識が広がり生活や産業活動に伴って生じる環境への負荷が軽減され地域の生態系が守られることが期待されます。

### 三、伝える

#### 文化の伝承活動の推進

地域の風土に根ざした「食」や「結い」の文化の伝承、西和賀地域ならではの郷土芸能等の振興と地域の特性を活かした新たな文化の創造など、文化活動の振興を図ります。地域の文化を伝承、創造する人材を掘り起こすと共に、それらの活動の場を設けることによって、地域間や世代を超えた交流が進み、若い世代への伝統的な技や文化の伝承と人材育成効果が期待されます。

### 四、創る

#### 資源循環を基調とする地域社会の構築

地域資源や地域特性を活かした農林漁業や商工観光業などの振興により、資源循環を基調とする地域社会の構築を推進します。これまでに以上に、資源循環を重視した産業を進めることによって、山林や農地、地域の自然が保全され、環境の世紀にふさわしい、いつまでも人々が暮らし続ける事のできる豊かな地域の実現が可能となります。

### 五、集う

#### 地域資源を活かした交流活動の推進

自然環境や伝統文化、歴史、産業をはじめとした各種地域資源を活用した地域づくりと交流活動を推進します。地域の技術や暮らし、文化、地域特性を活かした産業などを整備、運営することによって、都市住民等との交流促進が図られ、より一層、関連した各種の起業化が可能になるなど、地域振興効果が期待されます。

## 今後の活動予定

### 研修会

日時 一月十七日(月)十五時三十分  
場所 沢内村役場

講師 名久井 文明氏

民俗学者、岩手県立博物館(学芸員) 在任中から、縄文文化とのつながりを研究されています。  
演題 「伝統的文化は資産になりえるか」 参加自由・入場無料

### 雪中体験・観察会

日時 二月十三日(日) 九時三十分  
場所 沢内パーデン前駐車場

共催 カタクリの会、雪国文化研究所  
内容 雪国の文化と暮らしのお話し、雪中観察会を予定しています。  
家族でご参加ください。参加料 四〇〇円、申し込みは事務所又は町村担当課へ

何かご意見をお寄せください。

事務所は旧左草小学校にあります。

連絡先 左草一割地一三〇番地十一  
電話八一 一八五〇

湯田町 電話八一 三三八五 観光課

沢内村 電話八五 二二一一 総務課

越中畑小学校の創立百三十周年記念事業として、西和賀広域エコミュージアムでは学校のある新田郷地区と共催で平成十六年九月十八日、地区民およそ六十人と共に地元学を行いました。

**新田郷地区地元学**

**細内地区**  
湯田炭鉱跡、大台野遺跡、細内旧道、細内川、小田島康広さん宅、小田島悟さん宅などを案内していただきました。細内川は、昔、イワナやカジカがたくさんいて、水源には立派なブナの森があったが、伐採のため水量が半減したそうです。また、小田島康広さんのおじいさんは、物を大切にすることで倉庫には「先祖たちの遺してくれた知恵・努力・誠実の尊い汗の結晶です」という張り紙がしてありました。



小田島悟さんの家には、祖父の共進小学の第一号卒業証書がありました

**白木野地区**

旧湯田炭鉱社宅跡、越中畑小学校スキ場跡、芋田、白木野人形送り、旧公立白木野学校跡などを案内していただきました。芋田の由来は小さい田んぼが芋のように並んでいることからついたそうです。かつては白木野川に沿って、9基の

水車小屋があったそうです。

**越中畑地区**

越中畑最古の家跡、サクラバハノキ、御番所跡、沢口神社、菊池昭さん宅などを案内していただきました。昭さんの家にある槍は、御番所の人のお墓を作るための石を探したお礼にもらったという言い伝えがあります。

**中村地区**

旧平和街道、鬼ヶ瀬川、駒形神社、菊池窯、炭坑の跡などを案内していただきました。萩の枝を折って裂き、ニシンや八タハタを刺して囲炉裏で焼いて食べたそうです。干し柿を作る時は、小枝を刺して使うのだそうです。また、高橋淳木さんがゼンマイの葉と茎で飛行機を作ってくれました。

**野々宿地区**

一年坊の湧き水、スギの林、炭焼き小屋、杉森神社、高橋定信さん宅などを案内していただきました。一年坊の湧き水は、奥山から流れていてきれいな水でした。小又沢林道沿いの炭焼き釜で黒炭が生産されていて、焼き上がるまでに一週間〜十日間かかるそうです。

**栗郷地区**

湯田カントリークラブ、観音様、道祖神、昔の集落、温泉の源泉、かしま様などを案内していただきました。秋田県側にあるかしま様は、岩手県側から疫病が入らないように守っている人形で、以前は村はずれにあつたらしい。このことから白木野や下前でわら人形を運ぶ行事を行うようになったそうです。湯田カントリークラブの看板の横に置かれている道祖神は、以前、昔の集落の秀衡街道沿いにあつたそうです。

**子ども地元学**

平成十六年十月十二日(火)に越中畑小学校の子ども地元学を行いました。案内人を自然系は瀬川強夫妻、文化・歴史系は高橋文治さんにお願いました。



沢口神社の大杉のまわりを手でつないでみたら、14人の子どもたちになりました

**こどもたちの感想**

**サクラバハノキ群落**

(細川るな) えっちゅうはたは、サクラバハノキのおうちだね  
(小原沙也香) サクラバハノキの葉っぱはあつくてこごつ、はだはつるつるしていた  
(菊池陽介) サクラバハノキの群落では、せかいで一番広いところ  
(高橋優木) み近にぜつめつの可能性のある木があることを知らなかった  
(成瀬汐音) サクラバハノキの葉はサクラに似ているからついた名前だと分かりました

**越中畑御番所跡**

(中島奈留美) 悪い人がこないかみはつていた所だった  
(細川廉) 昔はきよかしょがないとおれなかつたことが分かりました

**沢口神社の大杉**

(高橋じゆな) 大きな木、くまさんもあそびにくるところ  
(高橋倭子) 大杉のきずはカミナリさまがつけたきず  
(小原明日香) 大杉の中に7〜8人入れた。木のくすがあつてふかふかした  
(成瀬響) 雷がおちてわれたところをぶさくように成長しててすごいと思いましたが、ぼくはあと何年いけるかなあと思いました

**白木野人形送り**

(細川歩) 人形送りをやめたら伝染病にかかったと聞いてびっくりした  
(小原涼) もっと人形をふやせばききめがよくなるかときもんに思った  
(池田歩乃子) 人形送りの話を聞いたとき、つづけていることは、ちゃんとやんなきゃいけないと改めて思いました  
小田島悟さん宅  
(小田島ひな) えんつこ、とつてもきもちがよかつたよ  
(池田慣作) 昔の道具がいろいろあつてすごいと思いました



みんなの家や見てきた場所を絵に書いて、みんなで協力して新田郷地区の地図をつくりました